

氏名	水川 伊津美
学位の種類	博士（医学）
学位記番号	甲第 1307 号
学位授与の日付	2023 年 3 月 17 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
学位論文題目	Radiological diagnoses by X-rays of musculoskeletal pain in Japanese patients with psoriasis vulgaris and radiological and clinical characteristics of patients radiologically diagnosed with psoriatic arthritis: A single-center retrospective study in Japan 当院における尋常性乾癬患者の関節症状の X 線診断と乾癬性関節炎の放射線学のおよび臨床的特徴の解析
指導教員	准教授 鎌田 昌洋（板橋・皮膚科）
論文審査委員	主査：佐藤 友隆 教授（ちば・皮膚科） 副査：林 高樹 病院教授（溝口・放射） 副査：西村 慶太 教授（宇都宮・医療柔整）

論文審査結果の要旨

乾癬は尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性関節炎に分類されるが、乾癬患者が筋骨格系の疼痛を訴える場合、その原因がどの程度乾癬性関節炎に起因するものかについては十分にわかっていない。

乾癬患者の関節痛が必ずしも乾癬性関節炎とは限らないことが海外では示されているが、本邦での報告はない。また本邦での乾癬性関節炎のX線所見の特徴に関するデータは限られている。

帝京大学病院にて尋常性乾癬と診断され関節症状を訴えX線検査を受けた患者 81 名（2018 年 4 月から 2020 年 3 月）を対象とし、X線診断にて乾癬性関節炎か他の要因による（特に変形性関節症）症状かを調べた。30 名が乾癬性関節炎、2 名が乾癬性関節炎と変形性関節症の合併、3 名が変形性関節症であった。

本研究により乾癬患者の関節症状が必ずしも乾癬性関節炎ではなく特に変形性関節症との鑑別にはX線写真による診断が重要であった。また同時に調べられた臨床症状とバイオマーカーの検査により、日本人乾癬性関節炎患者は海外の報告に比べて全身症状が軽度である可能性も示唆された。

本研究の優れた点として、本邦には尋常性乾癬と診断され関節症状を訴えX線検査を受けた患者を対象とし、乾癬患者の関節症状のX線診断と乾癬性関節炎か否かをX線画像にて調べた報告は今までにはなく評価した。対象を筋骨格系の疼痛を有する患者に絞った点、疼痛を有する乾癬患者では乾癬性関節炎であるのか否かが実臨床では重要になる。本研究ではその基礎情報を提供している点も評価した。限界としては、単施設の観察研究のため症例数が多くなくエビデンスレベルとしては高くないこと、X線写真のみでの評価であることが挙げられた。日本人のさらなる患者データ蓄積及び多施設共同研究などにより、症例数を増やした前向き研究が今後のさらなる研究発展のために期待される。また関節超音波検査や MRI などを併用することによりさらに初期段階の病態へ迫ることが期待できると考えられた。また単純 X 線写真で変化の無い群でのその後の画像変化の追跡や、さらに変化を有していた群でもその変化がどのような経過をたどるかなどの研究が期待された。

2022 年 12 月 27 日に行われた学位審査において申請者は当該領域の十分な知識と経験を有していることが確認された。

以上により、学位授与に値すると判断した。